

複写 NEWS

No.270 平成 29 年 1 月 1 日発行



Table of contents

新 年 の ご 挨 拶	3
読者参加フォトページ 晩秋の京都 関 雅夫	7
キヤノン i P カレッジ i n 大阪 開催	11
ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金説明会開催	12
組合日誌	12
ほっと一息 “紫栗きんとん”	14
賛助会員様へのご案内	15
編集後記	15

新年のご挨拶

組合員、賛助会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。新春にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、3月にジアゾ感光紙の終焉、7月は全国組織である複写連が「日本ドキュメントサービス協同組合連合会」へ名称変更、そして10月のArima Summit 2016の開催と、めまぐるしい変化と行動の一年であり、それを契機に組合員が一丸となり、次の時代へ始動する元年となりました。特に近畿がホストを務めたArima Summitでの分科会運営については、多くの組合員・賛助会員の皆様から共感の言葉を多くいただきました。やはり全国のご同業の会社の社員が自らの不斷の努力による新事業プロセスのプレゼンテーションに、参加各社が新しい可能性と一步を踏み出す機会を得たからに違いありません。

また同時に、このSummit運営を近畿の若手次世代メンバーを中心に進め、その場を通じて新たなコミュニティができたという事は、今後の組合運営にとっても明るい話題となりました。

今年も、新年会、定時総会、ボウリング大会、ゴルフ懇親会をベースに、教育研修事業の充実や次世代メンバーの交流会の企画、賛助会員のセミナー案内、そして当組合においても組合の名称変更も視野に入れ、役員一同精一杯議論してまいります。

今年も組合活動におきまして、引き続き活性化に向けてご指導いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

近畿複写産業協同組合 理事長 河村武敏

新年明けましておめでとうございます。

昨年は近畿複写産業協同組合がホストとして全国大会を開催しました。多くの組合員様・賛助会員様にご参加いただきありがとうございました。また次世代の方々にもお手伝いをいただき、近畿の副理事長として、また全国組織の副会長として有難く感謝いたします。

さて、今大会はある意味において業界の新たな歴史の第一歩を踏み出す記念すべき大会でした。複写業からドキュメントサービス業へと業界ドメイン（事業領域の定義）を変更しました。しかしそれは、あくまでも目指す方向の示唆に過ぎません。具体的には各社様の今後の事業の展開にかかります。その具現化のために地域と全国の業界組織が一体となり、賛助会員様の御協力を得て新しい時代環境に適應できるよう活動をしたいと思います。2017年、本年も組合員様、賛助会員様の御支援と御協力をお願いいたします。

副理事長 楠本雅一

明けましておめでとうございます。組合員の皆様、賛助会員の皆様におかれましては恙無く新年をお迎えのことと存じます。

昨年は組合活動に厚い御支援・御協力を賜り有難く御礼を申し上げます。

さて、全国大会も多くの仲間に支えられて成功裡に幕を閉じました。これも偏に組合員様、賛助会員様のお陰であります。近畿複写産業協同組合の強さはここに在ります。何かあれば集まることができ、何かあれば共に動くことができる、「連帯する場」が当組合の強さです。さらに全国大会で示唆された「協創の場」としての組合の価値が求められます。

2017年は新しい価値創造の初年になります。みんなで私たちの場の価値をさらに高めてまいりましょう。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

副理事長 福味正俊



謹賀新年

組合員の各社様、賛助会員の各社様に謹んで新年のお祝いを申し上げます。

今年は業界環境、市場環境、経済環境の大きなうねりの年になるように想像されています。このような環境下では1社のみで立ち向かう事も重要ですが、多くの先輩達の知恵の結集や過去の経験を活かし会員同志の皆様と共に互いの強み、資源、機能を補完して維持・継続する組合活動で無ければなりません。結束し心新たにスタートする年にしたいものと祈念する次第です。宜しくご指導・ご協力をお願い致します。

副理事長 満田創



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、組合活動に格別のご協力を賜りありがとうございました。特に、有馬全国大会では大変お世話になりました。あらためてお礼申し上げます。

昨年、組合の全国組織の名称が、日本ドキュメントサービス協同組合連合会に変わりました。それだけ各組合員様の事業が多様化しているということだと思います。このような中、微力ではございますが、組合員の皆様は何をご提供、ご提案できるのか、試行錯誤しながらやっていきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

専務理事 日笠宏昭



新年 明けましておめでとうございます。

さて、昨年の有馬・全国大会の大盛況は、理事長筆頭に実行委員諸氏そして次世代メンバー、組合事務局の目標達成への遂行力や献身的な努力に依って発信された熱意が、会員並びに賛助会員各位が積極的に受けとどめて下さった結果の賜物と思っています。何とかこの勢いを次回に引き継いで頂きたいと願っています。「発信」と云えばこの「複写ニュース」。昨年の中頃より会員の皆様方、賛助会員の皆様方に投稿を呼びかけお願いしておりますが、未だ実現に至っておりません。今年こそこの「一方通行」が解消され、「双方向」になることを願っています。

理事 桑田靱比古



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は有馬全国大会はじめ、組合活動に多大のご協力を賜わり誠にありがとうございました。

とりわけメーカー3社様のお力添えを賜わり開催いたしました研修会・セミナーには多数の組合員様にご参加をいただき厚く御礼申し上げます。

今年も研修の場だけでなく、組合員様・メーカー様との交流の場、情報交換の場としての教育活動を実施していければと考えております。

今年も皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

理事 巽充雄



新年あけましておめでとうございます。昨年は日本ドキュメントサービス協同組合連合会と名称が変わり、神戸、有馬温泉で大会がおこなわれました。わずかでも協力できたことに感謝いたします。これからの変化はますます、激しく進んでいくでしょう。ジアゾの機械がなくなり、図面の複写はPPCとなり、寂しさを禁じえません。それと同時にサイズも大判から小サイズになるところも多くなりました。それとデジタル化が進んでまいりました。用紙そのものも使わないことも多々増えてまいりました。ドキュメント加工というように「複写のデジタル化、情報化」を進めてまいりましょう。今年はさらに変化、進歩があるでしょう。

理事 山脇雅則



新しい年を迎えて皆様方はどんな気持ちで迎えているでしょう？
昨年は、全国大会で皆様方がとても喜んで下さっておられる姿が心に残ります。

今年も「皆様に喜んで頂ける」と言う基本で地道に一つずつ目の前の出来事から取り組んで参りたいと存じます。今年も大阪はまだまだ厳しい状況ですが、皆様と組合でできる限り力を合わせて少しでも良い状況になればいつも考えております！何卒本年もよろしくお願いいたします！

理事 藤田知子



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりありがとうございます。有馬サミット、多くの方にご参加いただきありがとうございました。

私自身も、皆様と交流を図ることが出来て有意義な時間が過ごせました。今年も、皆様の交流できる場を提供できるよう理事として微力ではございますが、宜しくお願い申し上げます。

理事 田中義雄



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、有馬大会にご参加ご協力、大変お世話になり有難うございました。おかげさまで、大会は盛り上がり成功裏に終えることが出来ました。その結果を活かすには、大会翌年に勢いを持ち続けることが大事です。

本年も組合活動にご参加、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

昨年と同様に広報（写真撮影）と京都地区を担当させていただきますので、組合行事にて、皆様の元気な笑顔を撮影させて頂きたいと存じます。新しい一年が平和で穏やかで、組合員の皆様の社業の発展とご健勝を祈念申し上げます。

理事 関雅夫



新年を迎え、当組合関係各位のご隆盛とご健勝をご祈念申し上げます。昨年は日本ドキュメントサービス協同組合連合会の全国大会を盛大に開催することが出来ました。会員・賛助会員の皆様のご協力の賜物と厚く御礼を申し上げます。

今大会では、業界の次代を担う諸君が共通の目標に向けて力を結集する様を間近に見ることができ、悦ばしい思いです。当組合の更なる活性化のため、彼らの活躍に期待したい新年です。皆さまのご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

理事 佐々木洋之



新年あけましておめでとうございます。昨年末、IR 法案が国会で可決されまだ大阪でカジノが建設されるかどうか決定していませんが、明るい兆しが見えてきたと思います。また次期大型案件で、万博・北陸新幹線も控えています。関西経済も好転するでしょう。本年も賛助会員様はもとより、多くの組合員様とお会いし、組合活動にご参加いただけるよう頑張っていきたいと思います。本年もご協力をお願いいたします。

理事 小野正治



新年あけましておめでとうございます。昨年は「有馬大会」へのご協力を賜り誠にありがとうございました。皆様にご迷惑をおかけする点多々ありましたが、おかげさまで何とか無事に完走できたことに個人的にはホッとしております。また分科会で当社が継続している「ニュースレター」について講演させていただいたことも、非常にいい経験となりました。これらの経験を活かし、今年は更に組合員の皆様のお役に立つ情報発信ができるよう努力してまいります。引き続きご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

理事 鶴井宏尚



謹賀新年。皆様良いお年をお迎えのことと存じます。

旧年中は、組合活動にご理解ご協力を賜り誠に有難うございました。特に昨年は有馬全国大会にて沢山のご参加を賜り、近畿およびDS連の事務局として、局員冥利につきました。さて、今年度は、そのご縁に感謝して、より様々な行事へのお声掛けをさせていただき、活動をともにしていただければ益々組合活動に弾みがつくと思います。ご案内の折にはどうぞ、御参加ください。また、今年は、他の協同組合にならって、組合員様を訪問し、取材を通して、組合員様の強みをお聞きし、皆様へお伝えさせて頂ければと考えます。どうぞ、今後とも組合活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

事務局長 小野恵美子

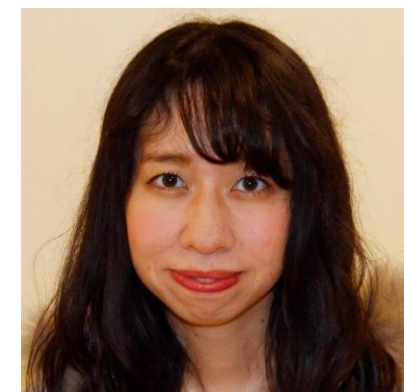


新年あけましておめでとうございます。近畿複写産業協同組合、事務局佐藤由美です。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、毎年の行事に加えて、五月には新製品研究会&情報交換会を行い（過去最多人数の方々に御参加いただきました、有難うございます）十月には有馬全国大会の開催と皆様のお顔を拝見出来る機会の多い一年だったように思います。その節は誠に有難うございました、心より感謝を申し上げます。

これからも組合事務局として、組合員様・賛助会員様のお役に立てますよう、誠心誠意努力してまいります所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

事務局 佐藤由美



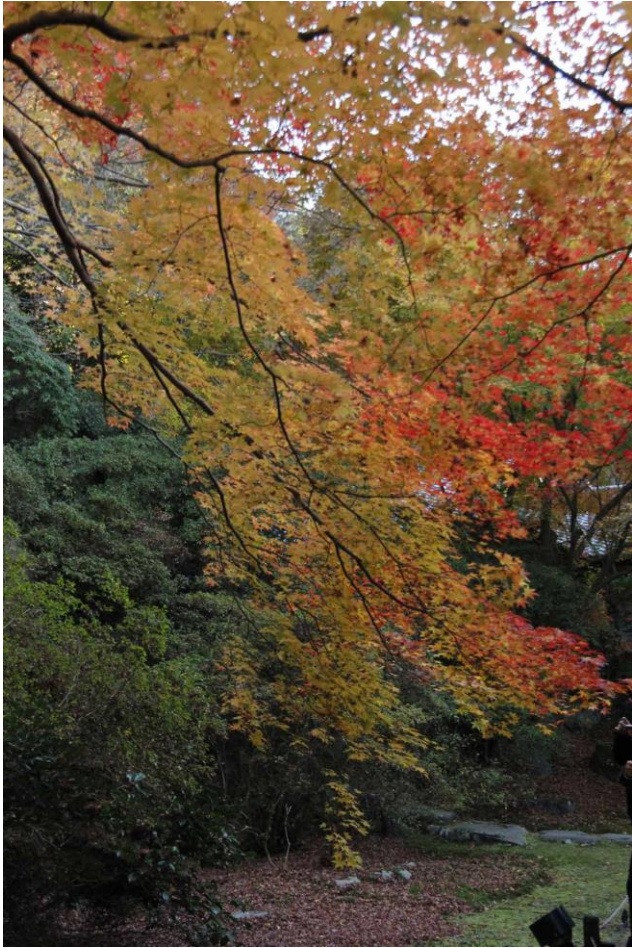
読者参加フォトページ＝

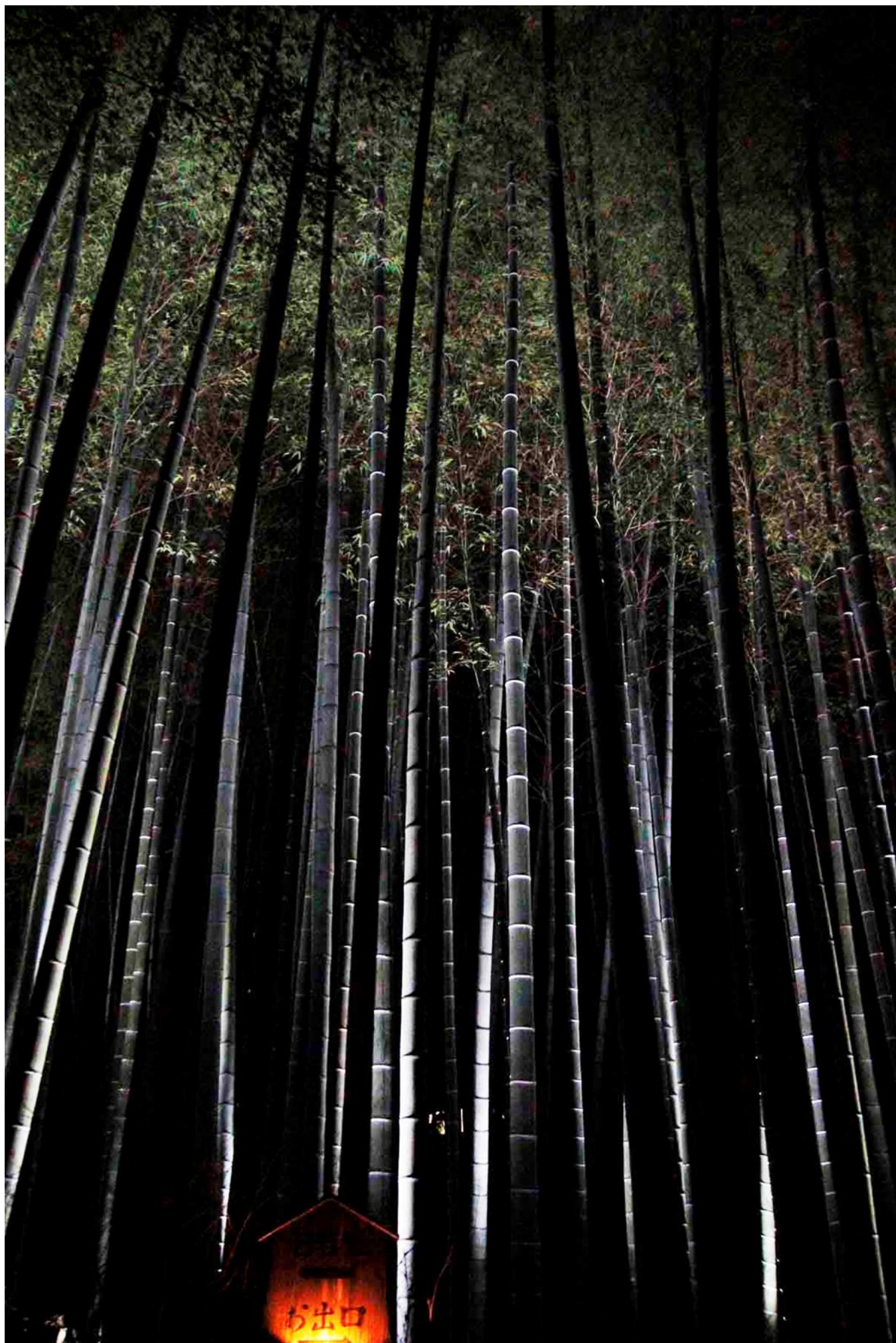
皆様のご投稿をお待ちしています。



晩秋の京都 関 雅夫







キヤノンiPカレッジ in 大阪 開催

平成 28 年 11 月 22 日 大阪の梅田ダイビルにてキヤノンマーケティングジャパン(株)共催による、キヤノン i P カレッジ i n 大阪を開催しました。

第一部第二部ともに 24 名の参加を頂きました

第一部は、『キヤノン DreamLabo による 超高画質オンデマンド出力の世界』と題して、

2012 年の発売以来 徐々に日本市場に浸透してきた超高画質次世代フォトプリンタが作る高付加価値ビジネスの創出のお話を頂きました。また高画質プリント商材の販売や、ブックオンデマンドサービスをされている一の実例をご紹介しながら、トナー型オンデマンド機との併用型ビジネスについてのご提案頂きました。

講師：キヤノンマーケティングジャパン株式会社 リテイルフォト企画部

第二部は、『上流ビジネス創出へ！ オンリーワン成果物によるビジネス改革！』と題して、

東日情報処理センター株式会社 代表取締役 早川育哉 様にお願いいたしました。

「外注から内製化へ」 ビジネスモデルの変化に伴い、仕事は待っていても来ない時代へ

変革していく企業＝生き残る必要条件になった。未取引であった市場や業界と直接取引開始。

何でも出来るは、何もできない。誰に対して何が提供できるかを見極めることが大切。顧客の創造！

今まで培ってきた「強み」への気付き

1. only one→No.1 へ

2. One To One 全部→「マスト」から「パーソナル」へ個人

3. One A Pay→飽きさせない。 3つのOneを作っていこう！

自社の強みで持ってもっと輝けるお客がいるのではないかな？必要な時に必要なものを。ニッチな物をニッチは企業と組む。自社だから出来ることへの構築。

第三部は、東日情報処理センター株式会社 代表取締役 早川育哉様にも御参加頂き、キヤノンマーケティングジャパン(株)メンバーと組合員とで懇親を図りました。早川様に色々な質問が飛んでいたようです。

アンケート結果

(1) 貴殿の職務は、以下のどれに該当しますか？

複数回答もカウント

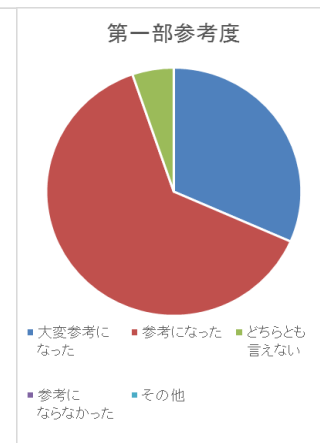
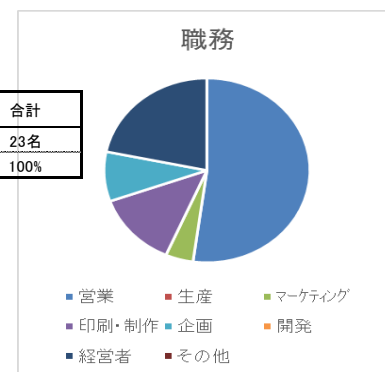
営業	生産	マーケティング	印刷・制作	企画	開発	経営者	その他	合計
12名		1名	3名	2名		5名		23名
52%	0%	4%	13%	9%	0%	22%	0%	100%

(2) 第1部のセミナー『キヤノンDreamLaboによる 超高画質オンデマンド出力の世界』は、参考になりましたか？

大変参考になった	参考になった	どちらとも言えない	参考にならなかった	その他	合計
6名	12名	1名			19名
32%	63%	5%	0%	0%	100%

(3) 第一部で印象に残った営業トークネタや、参考になった点(わからなかった点)について、ご意見をお聞かせください。

- ミクシイの事例 (リコーのPODの上位サービス)
- 黒色が素晴らしかった
- 両面対応
- 技術の向上に感動した。
- とても興味深い内容でした。細かい性能や出力条件など聞きたいです。
- 高品質な写真ページを有効に使う点は参考になりました。
- 画質が変わらない事。一冊から作成出来る事。
- サンプルのクオリティの高さ。
- シナジー効果 RGBをそのまま表現
- カレンダー



(4) 第2部のセミナー『上流ビジネス創出へ！ オンリーワン成果物によるビジネス改革！』は、参考になりましたか？

大変参考になった	参考になった	どちらとも言えない	参考にならなかった	その他	合計
9名	9名				18名
50%	50%	0%	0%	0%	100%

(5) 第二部で印象に残った事例や、参考になった点(わからなかった点)について、ご意見を聞かせてください。

- スポーツビジネスとの連携
- TOPの本気の決意の必要性を感じた。
- 現状把握と目的地（ビジョン）が有って初めて取り組むべき内容が見えてくる。
- BtoCではなくBtoBで他業種と組んでいく。
- パーソナルな商品の提供できる。
- 「創っていく仕事」「現在地と目的地の話が印象に残りました。」
- 地元のニッチについて
- 物事を客観的にみてどうするのか考える。
- 新たなマーケットへの挑戦が社内の組織風土への変化を与える。
- 発想が素晴らしいと思います。（クラブチームのカレンダー等）
- 自社の強みを客観的に見る。
- スポーツチームのカレンダー 狙いが素晴らしい
- 地域密着 ニッチなニーズ
- プロスポーツ、地域とのコラボは非常に参考になりました。

(6) 第二部での取り組み項目を今後の自社の取組みの参考にしたいと思いませんか？

そう思う	思わない	合計
12名	0名	12名
100%	0%	100%

(7) 貴社のデジタル印刷、PODビジネスに対するお取組み、お考えについてお聞かせください。

既にニーズがあり、積極的に取り組んでいる	まだニーズはないが、将来的には売上拡大を見込んでいます	他に優先する投資項目があり、具体的に考えていない。	市場の状況がわからず、まだ判断できない	その他	合計
10名	5名				15名
67%	33%	0%	0%	0%	100%

「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」説明会開催

平成 28 年 11 月 24 日 組合会議室にて、説明会を開催しました。

講師は大阪府中小企業団体中央会顧問上級コーディネーター浅岡武之様にお越し、中央会の説明会より先んじて行いました。

7 社 8 名の申込みがあり、公募要領にそって、今までの内容と変更になった点やより申請が通るためのポイントを細かく説明して頂きました。

組合日誌

第 590 回理事会開催

開催日時：平成 28 年 12 月 2 日(金)

17：00～18：00 理事会 18：00～懇親会

1. 報告事項

1-1. 第 589 回理事会議事録の報告

確認した旨報告された。

1-2. 有馬全国大会収支報告・懇親会経費の件

大会費収入-支出＝－14448 円と予算と大差ない収支でした。

ゴルフ大会費組合負担は予算以内の収支でした。

従って本会懇親会費は組合負担とします。

1-3. 実行委員慰労会開催報告の件

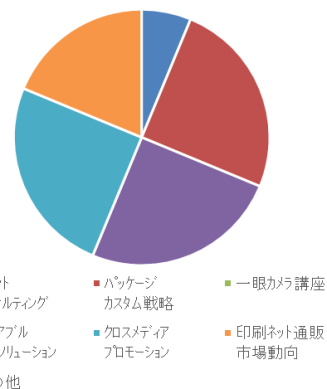
大会でご協力頂いた次世代組合員 16 名参加にて開催。DS 連より 3 万円礼金頂きました。残金は次世代事業予算より支出しました。横の絆が深まり良かったです。

1-4. 11/22 キヤノンセミナー開催報告

24 名の方に参加頂いた。大会記念品フォトブックを発送したところでタイミングが良かった。第一部第二部とも参考になったという感想が多く良かった。

1-5. 11/24 「ものづくり・商業・サービス新展開

今後のセミナーテーマ等



支援補助金」説明会開催報告

第5次ものづくり支援金に向けて、7社8名の参加申込みがありました。

1-6. アドビシステム募集の件

ライセンス契約により特別プログラムを行う企画でしたが、100ID→50ID→35ID→30IDへとハードルを下げてくださいましたが、結果24ライセンスに終わり、ダイビスご担当者様等、手数をかけてしまいましたが、不達でした。来年度はID基準をもう少し下げられるよう、アドビ担当者も尽力することですので、次回再度募りたいと思います。

12/10 情報定期便にて不達結果をお知らせします。各、申込み組合員については、小野理事よりご報告頂きます。

1-7. 11/16 DS連理事会出席報告（eラーニングについて）

各担当者からの報告の後、DS連名称変更に伴い、今後全国組織としての役割、事業についてなど意見交換をした。その後ゼロックス(株)開発による情報提供、その後山田元会長叙勲祝い会を行った。

2. 協議事項

2-1. 新年互礼会の件

12/2 現在参加申込み数が、61名です。昨年出席組会員名及び担当理事名をメールにて知らせ、声掛け願う。会費は申込み受領時、請求書を送り事前徴収する。次第については参加者が確定次第、三役と相談の上決定する。但し、OGS御参加者様には来賓挨拶を依頼する。抽選会を行う。但し、賞品予算は昨年の半額。賞品案は提案どおり承認された。会場はボールルーム利用。会費は10,000円(税サ込)フリードリンク付き。他諸費については、資料通り、承認された。理事会用部屋、互礼会待合室とは別部屋を確保。

2-2. 事務局年末年始休暇について 12/29-1/4 とする。

2-3. 図面袋卸価格値上げの件

提案通り承認された。

2-4. (株)モトヤ コラボレーションフェア協賛の件（河村理事長）

2/3-2/4 に行われるフェアに協賛することを満場一致で承認された。情報定期便にて組合員へ案内する。

3. 9・10 月度会計報告

有馬大会出費に伴い、一般管理費の増加は、否めない。しかし、大会関連の収支は予算通りの為、今期はこの後昨年どおりで推移すれば黒字の予定です。

4. その他

4-1. 職員賞与支給日の件

4-2. 憲法記念日知事表彰の件

河村理事長を推薦します。教育事業支援金受領した旨報告しました。

4-3. 1/1 号複写ニュース掲載「新年の抱負」記事の件（12/10 締め切り）

4-4. 写真撮影

4-5. 富士ゼロックス(株)販売キャンペーン結果報告。成約台数10台以上につき、組合へ6万円支援金が入ります。尚、組合員への手数料は12月ゼロックス(株)からの入金確認後1月20日送金予定です。





今回のテーマは“お正月”です。

紫栗きんとん

材料(6 個)

- 1.さつま芋(綾紫)正味 360g(中 2 本位) 2.みりん大さじ 2 杯 3.栗 14 個(飾り用 6 個含)
- 4.甘露煮用はちみつ 200g 5.水 150cc (市販の甘露煮代用可)

下準備:栗の皮を剥き硬い目に下茹でする。

作り方 (制作時間約 80 分)

- 1.さつま芋を皮付きのままレンジでチンしてゆでる。(根菜下湯でコース)又は、たっぷりのお湯でゆでる。
- 2.熱いうちにやけどに注意しながら皮を剥き、つぶす。

- 3.さつま芋を茹でている間に水に蜂蜜をいれ混ぜ、下茹でした栗を入れ甘露煮をつくる。6 個はやや硬い目で飾り用にし、先に取り出しておく。残り 8 個は柔らかめにする。煮あがれば味を染ます為に暫く置く。(市販の甘露煮を利用する場合この過程では、飾り用と混ぜ込むように栗をわけ、混ぜ込む用は、半分かくらいの大きさに切り分けておく。)

- 4.2 を裏ごしし、そこへ、みりん、塩を入れて混ぜる。

- 5.3 の柔らかめの混ぜ込むよう甘露煮の栗 8 個を 1/3~1/2 の大きさに切って煮汁と共に加える。
栗を潰しすぎないように混ぜる。

- 6.サランラップに 5 を 6 等分したものを入れ巾着型に丸める。形が整えば、ラップをはずし、飾り用の甘露煮を 1 つ飾って仕上げる。完成です。

- 7.他にサランラップで巾着型にせず、羊羹用の型に入れ、冷やし固めて、型抜きで抜いても楽しいです。写真は栗型で抜いたものです。(栗っぽく見せるため煎ったゴマをつけています。)

- 8.又は、固めたものを四角に切り、周りに小麦粉 50gと上白糖 10gと白玉粉 5gを水 50~60mlで溶いたものを 6 面に一面毎に塗っては焼きを繰り返し、金つば風にしても食べやすく美味しいです。

おせち料理の箸休めにいかがでしょうか。



賛助会員様へのご案内

いつもこの「複写ニュース」をお読み下さり、真にありがとうございます。

「複写ニュース」も昨年は、読者参加ページや「ほっと一息」と題しての小野さんのスイーツレシピ等、読者の皆様方との距離を縮めるべく刷新して参りました。しかし乍らよくよく思うにまだ何か足らぬことがある。そう そうなのです、それは「賛助会員様のページ」なのです。

賛助会員様よりの製品の情報、業務の案内、告知情報、我社の自慢、私共へのお役立ち情報・・・etc

勿論 広告宣伝のような記事でも結構ですし、又 個人での投稿も大いに歓迎致します。

この「複写ニュース」も組合員各位、賛助会員各位、組合この三者が揃っての記事が掲載されてこそ、皆様の情報誌として価値が高まると信じています。

何卒、賛助会員さまよりのご投稿を心よりお待ちしております。

(お問合せは事務局まで)

お願い:

本紙は組合員様に組合活動を出るだけ詳しくお知らせし、よりご理解をしていただく目的でお届けしています。お手すきのお時間にご覧頂き、是非ともお読みください。

発行:近畿複写産業協同組合
〒541-0043
大阪市中央区高麗橋 1 丁目 5-6
TEL06-6201-4766
FAX06-6201-4768
発行責任:河村武敏
監修責任:桑田鞠比古
編集制作:小野恵美子
問い合わせ:info@kinkifukusha.sakura.ne.jp

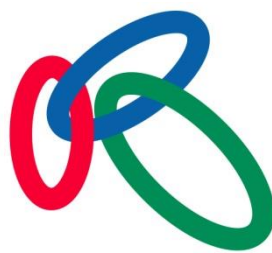
編集後記

恒例になりつつある私の年末年始の行事(とこういうものの体力的にいつまで続くかわかりませんが・・・)、スキー&温泉旅行。今年は小休止で初詣三昧で、神社仏閣の梯子です。と云うのも一番年嵩の孫が今年受験します。大いに頑張ってきた孫に対して、最後に私のできる応援は「神頼み！」なのです。

今年も皆様にとって良い年でありますように！ (記・桑田)

今年の干支は丁酉。俗に酉のつく年は、商売繁盛に繋がると考えられているそうです。果実が極限まで熟した状態を酉というそうで、今まで培ってきたことの成果が得られる感じがします。自分にとって実りある 1 年になり

ますように直感力と行動力をもってより積極的に活動できる年にしましょう！ (記・小野)



近畿複写産業協同組合